


















# 令和 7 年度国際理解ワークショップ 進行シート

令和 7 年 8 月 22 日作成

大 学 名 : 上越教育大学大学院

タイトル : 「五感で学ぶ！」カラダで感じるアクティビティ！

## 1. 本ワークショップに関連する SDGs の目標に○印をつけてください。

○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標
					
					
<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
				<input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>			

## 2 : 本ワークショップの要旨

ファシリテーターと一緒に「五感」を使うアクティビティを体験することで、日常にある自然の豊かさに気付いたり、本物に触れたり、自分自身が社会に向き合ったりする”きっかけ”を提供できればと思っています。そこで今回は、アクティビティとして楽しみながら行える”体験的なゲーム”を予定しています。カラダ全体を最大限生かしながら、私たちの生活について見つめ直す時間にしていきたいと考えています。

## 3 : 本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

カラダ全体で日常にある自然を感じ、さまざまな事象について自分事として捉えながら、私たちの身近な生活と SDGs の 17 のターゲットを結びつけて考えていくことを目的とする。

## 4 : 本トピックをとりあげる理由

本トピックを取り上げる理由は、子どもたちが成長していく中で自然と触れ合うことが少なくなっていく現状から、自然と触れ合う時間をとることができる授業ができたなら良いと考えた。机に向かって勉強をするだけが学びではないと考え、自分自身のカラダを使って肌で感じたり、カラダを動かしてみても自然を感じたり、不思議さや面白さ、新しいものや生き物たちと出会うことができたりする機会になれば良いと思い設定した。

また、自然との触れ合いの中で自然環境がきれいになったり、生き物や自然物を守るために自分がで



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間分けの正解があるわけではないということを押さえて進める。</li> <li>・他のグループと分け方を共有し、色々な分け方があることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目で見えている分類だけの仲間分けではなく、多様な視点から仲間分けを行うことができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>（多様性）を意識させられるような声掛けを行う。</li> </ul>
<p>発 展 : 転 ( 40 分)</p>	<p>○ネイチャーゲーム・フィールドビンゴをしよう！</p> <p>○ネイチャーゲーム・目隠し歩き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドビンゴカードを使用して、自然の対象物について、五感を使いながら感じる。</li> <li>・自然の対象物を教師が指定する。(例：樹木)</li> <li>・グループで一人が案内人となり、他のメンバーは目隠しをする。</li> <li>・始まりと終わりの位置は、案内人が決めた同じ位置から行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体全体を使い、動きを用いて自然を感じることができる。</li> <li>・視覚情報以外の感触を使い、自然物本来の香りや触り心地などを捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドビンゴカード</li> <li>・目隠し用バンダナ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象的なテーマで分かりづらい内容の場合は、イメージしやすいように変え掛けを行う。</li> <li>・動くことのできる範囲を絞る。</li> <li>・目隠しをしているため、転ばないように声掛けを行う。</li> </ul>

<p>まとめ：結 ( 5 分)</p>	<p>○身の回りの自然環境を感じて</p>	<p>・本時の活動を通して、どのように感じたか、考えることができたか。</p>	<p>・さまざまな事象について自分事として捉えることができる。 ・自分自身の生活に結びつけて考えることができる。</p>		<p>・これからの生活への意識の変化につなげる。</p>
-------------------------	-----------------------	---	--	--	------------------------------

**6：会場のセッティング（対面の場合のみ）**

- ・ 体育館もしくは視聴覚室（多目的教室）での実施
- ・ 運動場

**7：使用する教材**

- ・ 学校敷地内における自然環境
- ・ ネイチャービンゴカード
- ・ 生き物カード
- ・ 目隠し or バンダナ

**8：参考にした資料**

- ・ 成島悦雄・多摩六都科学館. 自然散策が楽しくなる！日本の生きものの図鑑. 池田書店, 2020.
- ・ ワークショップに関する大学院内での講義内容および資料

**9：その他**

- ・ 自分自身のカラダを存分に使って楽しむこと！